

関西電力株式会社社長 森 詳介 様

# 美浜3号炉8月3日の営業運転再開に抗議します 全原発を止め、耐震設計を抜本的に見直して下さい 関西電力への申し入れ

若狭連帯行動ネットワーク

本日、美浜3号事故から3年を迎えました。貴社はこの日を含む8月上旬に営業運転の再開を目論んでいました。それを私たちに批判されるや、8月3日に早々と営業運転を始めたのです。なぜ、事故から3年目の8月上旬にこだわったのでしょうか。去年は遺族に反対され、運転再開を延期したはずです。この姿勢はやはり、事故を教訓とせず、むしろ、事故の真相をうやむやにしたまま、過去のものにしたいという願望の現れではないでしょうか。事故から3年を経た今なお、オンライン検査導入による大幅な定期検査期間短縮や長期連続運転を志向するなど、貴社の経済性優先の姿勢は改められていません。貴社の品質保証システムは一向に機能していません。亡くなった5名の遺族や6名の重軽傷者の不安と不信を増大させながら、美浜3号の営業運転を強行したことに、私たちは強く抗議します。

また、東京電力の柏崎刈羽原発の直下に震源断層が広がっていることを新潟県中越沖地震が明らかにしました。「原発直下地震」が現実起きたのです。しかも、耐震設計で想定してきたマグニチュード6.5を超える規模でした。東電のホームページでは「活断層の上には原発は建てていません」と宣伝していますが、震源断層が原発直下まで広がっており、真っ赤な嘘でした。耐震設計審査指針は昨年9月に改定されましたが、その案を検討した耐震指針検討分科会では、「M7.3以下の地震は国内のどこでも起こりうるから、この規模の地震を直下に想定して原発の耐震性を見直さないといけない」という地震学者の意見が封じ込められました。今回の地震を教訓として、新耐震指針そのものの見直しが急務です。

貴社においても、美浜原発と野坂断層帯や三方断層帯との関連、大飯・高浜原発と熊川断層や小浜湾内海底断層・大島半島中部断層との関連などでも同様に過小評価しているのではないかと私たちは危惧しています。

私たちは貴社に対して 以下のことを強く求めます。

**大飯・高浜・美浜の全原発の運転を停止して下さい！**

**M7.3の直下地震に耐えられない原発は閉鎖して下さい！**

**原子力安全委員会に新耐震指針を即刻見直すように働きかけて下さい！**

**貴社の原発の耐震性について公開討論会を開いて下さい。**

以上